

株式会社コロプラ 第16回定時株主総会
株主様から寄せられたご質問及び当該ご質問に対する回答

2024年12月20日に開催いたしました第16回定時株主総会について、株主様からの事前質問及び当日質問に対する回答を記載しております。

なお、株主様から頂戴しましたご質問及びその回答については文意が明確になるように適宜補足・調整しております。また、「I 当日質問及びその回答」には、お時間の都合によりご紹介できなかった当日質問及びその回答についても記載させていただいております。

I 当日質問及びその回答

No.	ご質問	回答
1	過去5年間の実績を鑑みてあなたがたの能力が通用しないことは明白です。人・物・金・時間等すべてを無駄にしました。能力の有無ではなく通用しない事実をたいしてなぜ再任なのか説明を求めます。	(宮本) 業績低迷に関して、経営者として役員一同重く受け止めております。 そこで、役員専門性をもって取り組むことを目指し、新たな経営体制を導入することにしました。 2025年9月期は、この新たな経営体制のもと、Brilliantcrypto社のコスト効率化、新作タイトル2本のリリース、新プロジェクトの準備等の施策を進めてまいります。得意なモバイル領域を中心に、強いIPを用いて海外展開を行なうという方針のもと、どのようなステップを踏むかを明確にし、進めていきたいと存じます。 役員候補者につきましては、指名・報酬諮問委員会に諮問することにより客観性・透明性を担保し、適任者を選んでおります。
2	大赤字の主要因である Brilliantcrypto への先行投資について質問です。費用対効果が不明で株価は上場来安値更新が続いています。期日と利益予想を含め投資を継続する価値があることを説明してください。 説明が困難な場合はサービス終了が経営者の役割だと思います。	(馬場) ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。 Brilliantcryptoのゲームについては、デジタル宝石の創出という、おそらく人類史上初めてとなる困難で大きな目標を掲げ事業を推進しております。 この新しい事業については、会計基準に従うと売上の計上タイミングに時差が生じます。例えば、Brilliantcrypto社は2024年6月にブリリアンクリプトトークン(BRIL)のIEO(Initial Exchange Offering)を行いました。調達した資金は前受金に計上され、ゲーム内でのBRILの利用に応じて順次売上として計上されます。一般的なゲームはリリース当初に売上が一番発生して徐々に減少していくサイクルですが、Brilliantcryptoのゲームは、短期的な利益は見えづらいものの、時間の経過とともに徐々に売上が上昇しており、宝石の取引量も順調に伸びております。 フェーズ2における新たな施策も控えておりますし、今後の施策の結果をもって株主様やユーザーの皆様ご期待に応じていきたいと考えております。

No.	ご質問	回答
3	白猫プロジェクトのニンテンドーSwitch版の販売に関しての発表が長い間行われておりません。現在も開発継続中なのでしょうか？	<p>(坂本)</p> <p>現在お知らせできる情報はありますが、ユーザーの皆様喜んでいただけるよう企画を見直し中です。お知らせできる段階になりましたら皆様に随時お伝えしてまいります。</p>
4	バーチャルオンリー株主総会で株主からのプレッシャーが弱まったこともあり、導入以降、売上・利益・株価はすべて右肩下がりです。外部からのプレッシャーがない場合、企業の成長には経営者の情熱が重要です。創業者の馬場功淳さんから代表取締役が外れたのが気になっているが、馬場さんのモチベーションはどこにあるのか。	<p>(宮本)</p> <p>株主総会の開催方法にかかわらず、株主様からの厳しいご意見や売上・利益・株価等の当社の状況を真摯に受け止めております。バーチャルオンリー株主総会は、遠方にお住まいの株主様や当日ご参加いただけない株主様からのご質問にご回答申し上げることができるという点にメリットを感じております。新たな経営体制・施策により中長期的に企業価値を上げられるよう、役員一同、情熱をもって取り組んでおります。</p> <p>(馬場)</p> <p>私の代表取締役退任は、子会社である Brilliantcrypto 社の代表者としての責任を明確化するのが主たる目的でございます。</p> <p>代表取締役を退任したからといってモチベーションが下がるということは全くありません。当社の取締役として当社の企業価値向上に貢献するのはもちろんですが、世にないものを生み出しヒットさせることで世界を変えたいという想いは、私のモチベーションの根本であり、創業時と何ら変わっておりません。</p>
5	成長が後退している中、配当金のために資産が減少し、株価に大きく影響している。配当金で有利なのは創業者で約半数を保有している馬場会長だけであり、長期個人株主は資産が大きく減っている状況。長期個人株主に配慮するため、配当金を取りやめ、優待として QUO カード PAY にすべきと考える。	<p>(宮本)</p> <p>株主優待は、すべての株主の皆様公平に配分することが難しいという事情もあるため、剰余金の配当により株主の皆様へ還元したいと考えております。</p>

No.	ご質問	回答
6	<p>対処すべき課題にユーザー数の育成となっているが、プロ野球 PRIDE では新レアを次々と出すのでユーザーが離れて行っている。言ってることとやってることが逆ではないか</p>	<p>(坂本) プロ野球 PRIDE を長期にわたりプレイしていただき、感謝申し上げます。 当社は各タイトルを可能な限り長期に運用していくことを目指して施策を行っており、ユーザーの皆様を楽しみ続けていただくには新しい要素の追加は不可欠であると考えております。 こうした施策に関し様々なご意見をいただいていることは承知しておりますが、ユーザーの皆様長く愛されるタイトルを目指して今後も開発を続けていく所存ですので、引き続きよろしくご依頼申し上げます。</p>
7	<p>上場来初の通期赤字だが今後も続くのではないか。経営陣の意見が聞きたい</p>	<p>(宮本) 2024年9月期の赤字については、新しい価値を創出することへのチャレンジによるものと考えております。世界でエンタメを取り巻く環境が変わる中、当社はその変化にアジャストできる技術を持っており得意としています。そのため、そこに適切な投資をすることも中長期を見据えた計画として推し進めていく必要があります。 コスト削減に取り組むだけでなく、赤字の要因を分析し次に活かすと共に、適宜投資を進め、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。</p>
8	<p>株価が10年間、綺麗な右肩下がり。pbr1倍割れ、指摘された去年より悪化。市場から株主価値を毀損し事業を続けるより解散した方がいい上場失格状態とみなされている。経営者が株価に対する意識改革が必要ではないか、伺いたい。</p>	<p>(宮本) PBR1倍を下回っていることに関してですが、東京証券取引所からの要請もある中で、資本の効率化を求められていることについて、経営陣一同、しっかりと受け止めております。 一方、中長期的にエンターテインメント事業を成長させていく中で投資を行うことは不可欠であり、現預金の保有は事業投資をして成長につなげるための戦略的なものです。 PBR1倍を下回っていることから、解散して株主に還元したほうがいいという考え方もありますが、私共としては、事業に投資を行い、企業価値を向上させることによって株主の皆様へ還元を行うことが、株主の皆様へ資すると信じております。 しっかりと戦略を策定して実行してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>

No.	ご質問	回答
9	DREAM!ing の今後について教えてください。	(坂本) DREAM!ing はゲームサービス自体は終了したものの、それ以降もオフライン等にて皆様に長く愛していただき大変感謝しております。 2024年12月14日にミュージカル「DREAM!ing～White Maze～」を開催いたしました。今回がシリーズ最後の公演となり、その後の展開に関しては未定ではありますが、これからもファンの皆様に喜んでいただける施策を考えていきたいと思っておりますので、引き続きのご愛顧をお願いいたします。
10	今年の8月に白猫フェスが開催されたが、手応えや今後のリアルイベントに対する考え方や新たなグッズ展開は考えているのでしょうか	(宮本) 白猫プロジェクトは2024年7月に10周年を迎え、これを記念して白猫フェスを開催いたしました。白猫フェスには、多くのユーザーの皆様に会場にお越しいただき、改めて白猫プロジェクトが広く愛されていると実感いたしました。白猫はこれからも我々の主カタイトルになりますので、きちんと力を入れていくという思いでイベントを行いました。リアルイベントの開催につきましては、今後も節目で検討してまいります。

II 事前質問及びその回答

No.	ご質問	回答
1	コロプラとしてブリリアントクリプトを株主優待にしていたことは出来ないでしょうか？従来のゲーム内アイテムなどでは機関投資家や海外投資家が利用困難で難しいと思いますがブリリアントクリプトならば優待として導入しても問題は解決できるしトークンの普及にも繋がると思います。	株主優待は、すべての株主の皆様に公平に配分することが難しいという事情もあるため、剰余金の配当により株主の皆様に還元したいと考えております。
2	馬場会長がコンテンツ開発への専任のために社長を退任されていますが、株価持ち直しが期待できるようなコンテンツの発表はいつぐらいを目指しているのでしょうか？	馬場が新作に集中できる体制を敷いたことで、社内の新作レビューの速度が速まり、クリエイティブな部分でのPDCAが早く回るようになるなど、良い影響が生まれてきております。株価につきましては業績や市場の需給など様々な要因によって決定されるものですが、業績改善については、新作のヒットが不可欠であると考えており、2025年9月期は、新作スマホタイトル2本をリリースする見込みです。引き続きグローバルで受け入れられるモバイルゲームの開発・リリースに注力してまいります。

No.	ご質問	回答
3	<p>長らく「魔法使いと黒猫のウィズ」をプレイしている者です。この度アプリ外課金の実装されました。報道等を見るに手数料負担の軽減が期待されるとともに、ユーザーへの還元が強化されており、印象は悪くありませんが、会社側の見通しはどうでしょうか。アプリ外課金への移行具合や業績への寄与について聞かせてください。</p>	<p>長らく「クイズ RPG 魔法使いと黒猫のウィズ」で遊んでいただき、ありがとうございます。</p> <p>外部決済導入タイトルに関する売上比率については、タイトルによって差異がありますので一概には申し上げられませんが、ユーザーの皆様からは概ね好意的に受け止められています。外部決済を導入することで、ユーザーの皆様がより自由に選択ができる環境を整えていきたいと考えております。</p>
4	<p>2024年9月期は最終赤字であり、現在の株価は3年前から半値ほどで、会社が評価されている状況にありませんが、どのように対処すべきと考えていますか。前回の株主総会では具体的な説明がなされなかったと感じたので、今回はもっと具体的に説明してください。</p>	<p>2025年9月期は、新作スマホタイトル2本をリリースすることによる売上増や、Brilliantcryptoの段階的なコスト効率化を見込んでおります。</p> <p>その他、まだパイプライン化に至っていない案件も水面下では常に協議を行っており、将来に向けた検討も着実に進めております。</p>
5	<p>Brilliantcrypto社の今期費用はどれくらいを見込んでいるのか。大まかな数字で構わないので教えて欲しい。</p>	<p>2025年9月期のBrilliantcrypto社については段階的なコスト効率化を見込んでおりますが、費用に関する具体的な数字については回答を差し控えさせていただきます。</p>
6	<p>配当が出るのはありがたいが、赤字で黒字転換の目処もない状況での配当支出には疑問を感じる 今期は黒字転換出来る目処や決意があるとの認識で良いか？</p>	<p>2024年9月期の赤字については、新しい価値を創出することへのチャレンジによるものと考えております。世界でエンタメを取り巻く環境が変わる中、当社はその変化にアジャストできる技術を持っており得意としています。そのため、そこに適切な投資をすることも中長期を見据えた計画として推し進めていく必要があります。</p> <p>コスト削減に取り組むだけでなく、赤字の要因を分析し次に活かすと共に、適宜投資を進め、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。</p>
7	<p>コロナ禍ならともかく、業績が悪く、株価もダダ下がり、PBRも0.8台と酷い状況。 なのになぜバーチャル株主総会なのか？株主と向き合って、意見交換の場を設けるべきだ。</p>	<p>バーチャルオンリー総会は、感染症の拡大や大規模災害発生時などに対してのリスクを低減できることのみならず、会場設営のコスト削減や、遠隔地の株主様や外出できない株主様の参加が容易といったメリットがあると考えております。また、株主様からの事前質問及び総会当日のご質問に対する回答については、原則としてすべて当社ウェブサイトに掲載させていただいております。</p> <p>貴重なご意見として承りましたので、今後の開催方法につきましては、社会情勢・他社動向等も踏まえ検討してまいります。</p>

No.	ご質問	回答
8	<p>経費、準備等の問題がありますが株主総会はバーチャルではなく本来の姿に戻すべきではないでしょうか。やりたくない理由ではなく出来ない理由を具体的に説明してほしい。バーチャル総会はコロナ等の理由で導入された認識があります。現在はそんな理由は通用しないと思われま</p>	<p>同上</p>
9	<p>子会社の MAGES. 社がアミュレート社やアイチューブ社に事業を譲渡してるみたいですが具体的にどのような事を行っているのか。今後その事業の方針はどうなるのか。</p>	<p>当社の完全子会社であります MAGES. 社は、2024 年 8 月から 2024 年 11 月までに、タレント事業を株式会社アミュレートに、音響制作事業を株式会社 INVISION に、アイドル事業を株式会社アイチューブ（現：株式会社エムファイブ）に、コンテンツ事業及び番組制作事業を株式会社 AniTone に、それぞれ吸収分割により事業譲渡いたしました。今後、MAGES. 社は収益を見込めるゲーム事業に注力してまいります。</p>
10	<p>2014 年の高値以降、一貫して右肩下がりですぐ下げ続けた株価について、経営者としてどう考えているのか、その場凌ぎでない具体的な打開策を伺いたい。また特に時価総額を上回るほどの利益剰余金について、自社株買いなど具体的な活用法を説明いただきたい。</p>	<p>株価の下落については、経営陣一同、真摯に受け止めております。2025 年 9 月期より、新たに策定した中期経営方針の取り組みをスタートさせております。「海外市場への積極的展開」、「国内 IP の活用」、「新しい UX の提供」という 3 つの戦略を掲げ、それを推進する新たな経営体制へ移行し、当社の強みをより一層活かすことで企業価値向上を図りたいと考えております。また、利益剰余金の具体的な活用方法については、短期的な施策ではなく、前述の 3 つの戦略に事業投資を行うことで本質的に企業価値を上げる努力をしていく所存であります。</p>
11	<p>プロ野球シリーズの 2 部門は過疎化が進んでいる。白猫シリーズと違って将来性が無い。プロ野球 PRIDE とバーサス、この 2 部門の収支を差し支えない範囲で教えて欲しい。費用対効果が薄ければサービス停止を提案したい</p>	<p>個別のタイトルに関する詳細な数値のご説明は差し控えたいと存じます。また、各タイトルのクローズにつきましては、売上、ランニングコスト、それらに紐づく各種 KPI の推移を踏まえて総合的に判断しております。</p>
12	<p>株主優待が乏しい。代表はゲームアプリ等での株主優待に反対の立場だか、コロプラのアプリのユーザーはヘビー課金ユーザーで運営がなっている。ヘビーユーザーなら株主優待目当てに、コロプラの株を買う事も期待できる。アプリの株主優待を再検討することは出来ないか。</p>	<p>株主優待は、すべての株主の皆様へ公平に配分することが難しいという事情もあるため、剰余金の配当により株主の皆様へ還元したいと考えております。</p>